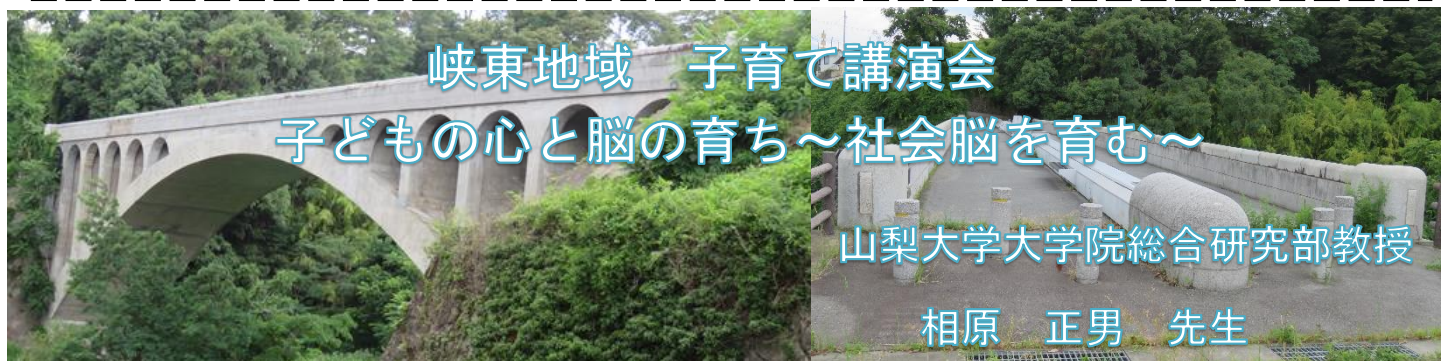


# エリアウェブ

峡東教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
TEL 0553-20-2731  
FAX 0553-20-2733



7月11日（木）山梨市民文化会館において、峡東地域教育推進連絡協議会主催の「子育て講演会」が開催されました。当日は雨が降るあいにくの天候でしたが、200名を超える方々が参加し、山梨大学大学院総合研究部教授の相原正男先生を講師にお招きし、『子どもの心と脳の育ち～社会脳を育む～』という演題で、ご講演いただきました。以下に講演会の一部を掲載します。

なお、講演会に先立ち、総会も開催され、峡東地域の会員約50名が出席し、本年度の新役員、並びに活動計画が承認されました。

【 講演録 】

☆ヒトの社会脳はなぜ大きくなったか？

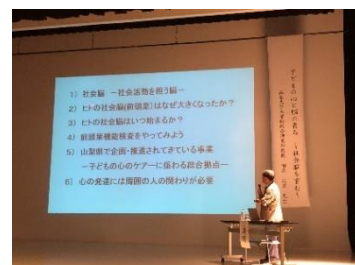
10歳代に、前頭葉、前頭前野が成長していく、すなわち社会脳（social brain）が作られていくわけです。脳画像の進歩により、生きているヒトでこのような事実がわかってきましたが、当時この結果を知り非常にびっくりしました。それは、脳全体では3歳ぐらいで成人の9割ぐらいの大きさになることがわかっていましたからです。前頭葉の成長に関しては、10歳代をかけてかなり遅れてスパートしているってことが判明したわけです。

ひるがえって考えますと、ヒトの前頭葉はなぜ大きくなったか。生態学的には集団生活で生きていくために大きくなっていることが解明されており、その成長は青年期後期まで増大しているという事実があります。

ですから学校の先生方、特に小学校、中学校、高等学校で思春期前後の生徒と関わっている先生方は、前頭葉が成長している過程にあるヒトと今関わっているということに留意すべきではないかと思えます。なぜなら、ヒトの前頭葉だけが大きくなっただけではダメですね。成長していく前頭葉に他者と関わる機会を与えるのが大事です。そこで社会性が学習されてくるからです。

☆社会脳を育むために・・・保育士とペアレント・トレーニングを研修した際、

「保育士はほめることは日常行っております」といわれました。この返答にかなり衝撃を受けたんです。私達は、学年が上に行くに従って、ほめられる機会は少なくなるんですね。保育園ではいっぱいほめてもらえる。小学校低学年ではほめてもらえるけど、高学年ではやって当たり前、中学、高校になると誰もほめてくれない。今、僕には誰もほめてなんかくれません（笑）。次頁へ続く



カラー版をご覧ください

『エリアウェブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開いて下さい。是非ご覧ください。



エリアウェブ  
ホームページ

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>

ご意見をお寄せください

◎『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙右上の連絡先にご連絡下さい。



E-mail アドレス

[kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp)

お問い合わせ

保育士から受けた衝撃の理由は、学年が上に行くに従って、ほめられる機会が少なくなってくることを自覚させられたからです。保育園の先生はほめることのプロなんですね。この事実は、やっぱりよく考えてみたら納得できますね。ですから小学校、中学校、高等学校と学年が上がっていても、その人の良いところをしっかりと意識して、ほめる機会をつくるってことは社会脳を育む上でもっとも大事ではないかと思っております。

### ☆社会脳の発達について

ヒトの前頭葉機能は、他者をイメージすることができるように発達します。いじめられそうだとか、苦しいときに、他者に助けを求められる。そういうふうに指導していくことが必要ですね。先生であったり、親友であったり、親であったり、自分ひとりではないってことをイメージできることが重要です。10歳過ぎてからは将来の自己をイメージできるようになります。15歳で半年後、18歳で1年後、そして30歳を超えると10年、20年先の自己をイメージして今を生きているということになります。ですから、10歳過ぎると前頭葉の時間イメージができますから過去の自分ばかりではなくて、将来の自分をイメージすることで折れない心を育むことができるようになります。今の苦痛を、今いっしょにいる友達、周りの人たちに助けを求めるとか、支援を求めるとか、あるいは10歳過ぎてからは、今の自分よりも、将来の自分をイメージしながら、今の苦境を乗り越えていける。そういう指導が必要になってくると思います。時間と空間のイメージですね。社会脳の発達とは、他者との関わりを想像し、将来の自己のイメージが広がることです。このことを10代から20歳までの間に体験しておくことが、大人になる前に大切なことです。



## ことぶき勸学院入学式・開講式

## 山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院では、4月16日（火）コラニー文化ホールにおいて、平成31年度入学式を行い、164名の新入生が入学しました。市川満学院長は式辞の中で、「人生100歳時代を迎え、様々なステージで必要となる資質・能力を身につけ発揮することが重要である。」と新入生を激励しました。午後は『いきいきと楽しく生きる』と題して、生物学者の池田清彦氏（山梨大学名誉教授 早稲田大学名誉教授）が「男性に比べ女性が長生きであることの原因や長生きの秘訣」についての講演会がありました。



2年生開講式



入学者の宣誓

また、峡東教室においては、2年生の開講式が4月19日（金）に、1年生の開講式が4月22日（月）に行われ、今年度の勸学院での学習がスタートしました。2年生では、早速後藤英美子先生による講演が行われました。両学年とも、学級役員や実行委員会の役員、班の係についての話し合いを和気藹々としていました。



1年生開講式

### 講演会の御案内 峡東地域教育推進連絡協議会 ※詳しいお問い合わせは峡東教育事務所まで

#### ☆保幼小中連携セミナー☆

#### テーマ：「やってみよう！「アンガーマネジメント」～子どもたちの笑顔は、大人の笑顔から～」

講師 広瀬 竜太 先生 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 認定ファシリテーター  
(山梨市立山梨北中学校教諭)

日時 令和元年8月22日（木曜日） 15：00～17：00

場所 甲州市民文化会館 2階大会議室

#### ●怒りに振り回されない人生を

「子どもも、先生も、学校も地域もみんながハッピーな世の中を創りたい。」きっと私だけでなく、子どもや教育に関わる全ての人の願いではないでしょうか。

近年、すぐにキレる子どもや若者の対応に、苦闘している人は多いのかもしれませんが。そして、自分自身に溜めてしまった「怒り」の矛先を、身近な人へと向けてしまい、後悔することもあるかもしれません。

子どもや教育に関わる多くの方が、怒りに振り回されることなく、子どもたちや大切な人たちと幸せな毎日を過ごすことを心から願っています。

## 青年会議所事業紹介

青年会議所では20歳から40歳までの会員の皆さんが、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざして、地域貢献や行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。今回は、管内3市の青年会議所で行われた、子どもたち対象の地域貢献事業について紹介します。

### 本格的な自転車教室 山梨青年会議所

4月21日に『プロに学ぶ自転車体験競技教室「快汗疾走」』と題した自転車教室が境川競輪場で開催され、山梨市内の小学生12人が参加しました。指導に当たったのは、重量挙げのアテネオリンピック代表で、現在はプロの競輪選手の今村俊雄さんと元競輪選手で競技場の管理事務所長である小林一也さんです。子どもたちは、自転車の基本的な構造についての説明を受けた後、自由に自転車に乗って競技場を周回しました。一周走る時間を計測するタイムトライアルも行われ、子どもたちは全力でペダルを漕いでいました。

今回は、子どもたちが普段触れる機会がない競技用の自転車にプロの競輪選手の指導のもとで乗車し、しかも競輪場で実施されるという、子ども達にとって初めてづくしの環境の中で行われました。子どもたちからは「初めて来たけど、走ってみて楽しい。」「競技用の自転車が意外に乗りやすい。」といった感想も聞かれ、自転車に対する興味を深める教室となりました。



### 清流杯争奪わんぱく相撲大会 笛吹青年会議所

5月12日に笛吹市石和町清流公園内相撲場において「第27回清流杯争奪わんぱく相撲大会笛吹場所」が開催されました。まだ経験の浅い子どももいましたが、相撲を通して「努力することの大切さ、勝つことの喜び、負けることの悔しさ、苦しいことでも乗り越える力、思いやりの心を持つこと大切さ」を学ぶ機会となりました。

大会には、市内の小学生以下の女子も含む60名を超える子ども力士が集まり、団体戦、個人戦と熱戦を繰り広げました。午前中の団体戦では体は小さくても大柄な相手に果敢に挑んでいく場面や女子が男子を押し出す場面が見られました。個人戦では、6月の県大会の代表を目指し、大相撲さながらの熱戦が繰り広げられました。昼休みにはちゃんこ鍋も振る舞われ、子どもたちは舌鼓を打っていました。

大会を通じて、子どもたちが最後まで精一杯力を出し切っている姿、敗者が勝者をたたえ、勝者が敗者をいたわる姿が印象的でした。



### 戦時中の生活を体験しよう 甲州青年会議所

5月12日に甲州市塩山下小田原の上条集落の「もしもしの家」を中心に「What was in 1945@Kamijo?～1945年体験プロジェクト～」と題して、1945年当時の暮らしを体験できるイベントが行われ、甲州市内から抽選で選ばれた小学生20名が参加しました。小学生達は、薪集め、水汲みを行った後、麺づくり班、薪割り・火おこし班、野菜の下ごしらえ班に分かれ、地元の方からの指導を受けながら、ほうとうやお練りを自分たちでつくる体験活動に取り組みました。昼食は自分たちで作ったほうとうやお練りを食べ、「お練りが思ったよりおいしい。」など地元の方々といれあひながらおいしそうに食べていました。昼食後は、「甲府空襲の話かみず」の朗読会や地元の中村一仁さんより戦時中の生活や空襲時の上条集落の話に聞き入っていました。その後、中村さん宅へ移動し、防空壕に実際に入る体験をしました。

子どもたちは戦争体験者からの話を聴いたり、ほうとうやお練りづくりを通して当時の生活に触れる貴重な体験をすることができました。令和の時代も平和が続くように参加者全員が思いをはせるイベントとなりました。



## 学校PTA林自然学習会

## 甲州市立神金小学校

絶好の自然活動日和となった6月2日（日）、甲州市立神金小学校では、全校37人の児童と教職員・保護者等の参加の下、学校林において自然学習会が行われました。4～6年生の児童と全学年の保護者は学校林に集合し、学年ごとに分かれて、「シカによる食害防止のテープ巻」「巣箱かけ」「倒木の枝打ち」の作業を行いました。不安定な山の斜面で慣れない手つきながらも、保護者の手を借りながら懸命に作業をしていました。その後、学校を徒歩で出発し、自然観察をしていた1～3年生が合流したところで、講師の村山敬洋さんの指導により、全員で剪定枝を用いた簾風の壁飾りを制作しました。神金の山々に囲まれた涼しく爽やかな大自然の中で活動したり、みんなでお弁当を食べたりと有意義な時間を過ごし、地域の環境を守る活動をしました。



## 桃花ダイスキマーケット&オープンスクール 高等支援学校桃花台学園

5月24日（金）、桃花台学園で「桃花ダイスキマーケット」が開催されました。この行事は、一般の来校者に、生徒たちが育てた野菜や製造したパンを販売したり、カフェでの飲食が楽しめるイベントです。オープニングでは、太鼓部の皆さんが勇壮な演奏を披露してくれました。来校者たちは、生徒が作った野菜やパンを買い求めたり、「桃カフェ」でワッフルやプチケーキに舌鼓を打っていました。ちなみに写真のイチゴメロンパンは、ふんわりとしていてイチゴの香りと甘味が絶妙な一品でした。「桃カフェ」で、接客していた生徒からは、「慣れてくると楽しい。」などの声もきかれ、就労に向けてよいきっかけづくりになる取り組みです。この行事は月に1回のペースで年間8回開かれ、11月16日には秋の大収穫祭が行われる予定です。



また、5月31日（金）、6月4日（火）にオープンスクールが開催されました。全体会の前半は、学校生活、進路、教育相談について説明がありました。特に進路について、生徒の特性を生かし、3年間で10週間にも及ぶ体験実習や現場実習を重ね、企業とのマッチングを丁寧に行って就職につなげているとのことでした。後半は在校生から、食品加工、農業生産、環境メンテナンスの各コースや部活動についての説明がされ、参加者は熱心に聞き入っていました。全体会の後は、校内見学が行われ、実際の授業や各コースの生徒の活動状況を間近に見ることができました。



## 地域も参加！防災避難訓練&学校公開

## 県立ろう学校

5月13日（月）に県立ろう学校において、防災避難訓練と防災教室が開催されました。この訓練は、在校生や職員の火災発生時における避難経路など災害時の対応を確認することが目的ですが、在籍する幼児・児童・生徒に対する地域社会の理解を深めるために、東山梨消防本部はもちろん、地域（山梨市大野地区）の住民、消防団も参加して行われ、学校と地域が一体となって防災に対する理解を深めています。避難訓練では、火災報知器の作動後すべての幼児・児童・生徒、職員は、校庭に避難をしました。避難後は、煙体験ハウスによる火災疑似体験や消火器を使った消火訓練を行いました。煙体験ハウスでは、最初は怖がっていた幼児や児童も、一度経験することで、再度入ろうとするなど、元気な姿が印象的でした。消火訓練では、「消火器から出てくるものは何？どのくらいの距離まで届く？どのくらいの時間噴射する？」などのクイズ形式の問いかけに元気に答えたり、実際に消火器を使い、消火が成功すると歓声をあげていました。



6月1日（土）には学校公開が開催されました。はじめに全体会で、授業や進路についての説明がありました。それから、参加者は自由に校内を見学したり、授業を参観しました。授業は少人数でしたが、児童・生徒たちは、進んで手を上げて自分の考えを説明したりするなど、積極的に学習に取り組んでいました。

## パラスポーツと障害者理解

笛吹市立一宮南小学校

5月21日(火)に一宮南小で「ユニバーサル・ラン<2019 年度義足体験授業>」が陸上短距離の義足のパラ選手である山下千絵選手を招いて開催されました。当日5・6年生の児童は体育館に集まり、まず義足についての説明を受けました。それ



から、実際に体験用の義足を履いてマットの上を歩いたり、片足で飛び跳ねたりして、義足の履き心地を確認しました。また、映像を使った講義も行われ、「義足が何でできている?値段は?」などの質問に児童が答えたり、山下選手の日常生活について教えていただきました。その中で「義足でもスポーツを諦める必要はない。」とおっしゃった山下選手の言葉が印象的でした。児童たちにとって、パラ競技に対する興味・関心や障害者理解を深める時間となりました。



## 命の大切さを学ぶ

甲州市立玉宮小学校・菱山小学校



人権擁護委員連合会が実施している「人権の花運動」が県内トップを切って5月9日(木)に玉宮小学校で、5月28日(火)には菱山小学校で人権集会として行われました。集会では、人権擁護委員の栗原宣如さんが、「花にも命があります。花を育てることで、命の大切さを花から学んで、いじめがない小学校にしてください。」と児童に呼びかけました。そして、児童代表にマリゴールドなどが植えられたフラワーポットが贈呈され、子どもたちも、命や友達を大切にすることへの誓いを新たにしていました。最後に、メッセージや花の種をつけた風船を飛ばしました。この玉宮小学校で飛ばした風船が、およそ130km離れた茨城県つくば市まで達し、拾った方からはがきが届いたそうです。



玉宮小学校の様子



菱山小学校の様子

## 保幼小中連携事業

甲州市立大和保育所・大和小学校・大和中学校

6月10日(月)に大和小学校において、大和保育所、大和小学校、大和中学校による合同引き渡し訓練が開催されました。この訓練は、災害時における避難経路を確認し、子どもたちを安全に保護者に引き渡すことが目的です。大和小・中学校では数年前から合同で行っていましたが、大和地区の幼児に対しても防災の連携をとるために、今年から合同で行われ、防災に対する理解を深めることができました。あいにくの雨のため、大和保育所の幼児は、大和小への避難はできませんでしたが園内で同時刻に訓練を行いました。大和中の生徒と職員は、大和小に避難をしました。避難訓練後は、保護者への引き渡し訓練をおこないました。有事の際を想定して行われた引き渡し訓練は大変有意義なものとなりました。



## 園児の農業体験

たんぼぼこども園

保育所や幼稚園では、情操教育の一環として通常の活動に加えリトミック・絵画教室・英会話教室など園独自の教育活動を行っています。甲州市のたんぼぼこども園では園の近所に在住されている内藤さん夫婦の田んぼをお借りし、内藤さんの指導の下、田植えを行いました。園児たちがとても楽しそうに農業体験を行いました。実体験を通して自然の恵みのありがたさや共同作業の大切さを学びました。1本1本の苗に「大きくなれ」と願いを込めながら植えている姿が印象的でした。収穫が楽しみです。



## 東山梨・笛吹 小学校陸上記録会

5月23日(木) 塩山総合グラウンドに東山梨地区の21校の6年生567人が集まり、陸上記録会が行われました。当日は晴天に恵まれ、5月とは思えない暑さの中にもかかわらず、最期まで諦めずに頑張る姿が随所に見られました。

【東山梨地区 400mリレー 結果】

	男子4×100mR		女子4×100mR	
1位	笛川	1.01.0	日下部	1.03.0
2位	加納岩	1.01.8	八幡	1.04.6
3位	井尻	1.03.3	塩山北	1.04.8
4位	東雲	1.04.3	加納岩	1.05.7
5位	日川	1.06.0	日川	1.07.8



【笛吹市 400mリレー 結果】

	男子4×100mR		女子4×100mR	
1位	春日居	57.5	1位 春日居	58.9
2位	一宮北	59.2	2位 富士見	1.00.6
3位	境川	59.5	3位 御坂西	1.01.5
3位	石和西	59.5	4位 八代	1.01.7
5位	一宮西	59.6	5位 一宮西	1.02.0
5位	石和南	59.6	6位 一宮北	1.02.9
7位	富士見	59.7	7位 石和南	1.03.1
8位	御坂西	59.8	8位 石和西	1.03.8

6月11日(火)には、甲府市小瀬陸上競技場で笛吹市内14校の6年生517人が集まり、陸上記録会が行われました。当日は前日までの梅雨空が嘘のように晴れ渡り初夏の陽気となりましたが、選手たちは、日頃の練習の成果を発揮すべく、カー杯競技に臨んでいました。

両会場ともに、競技終了後に学校は違っても、喜びを分かち合ったり、互いに健闘をたたえ合う姿が印象的でした。また、観客席から自分たちの学校を応援する姿がとてもすばらしく、さすがは最上級生だと感じました。

## 峡東地域内中学校総合体育大会

笛吹市中学校総合体育大会・東山梨地区中学校総合体育大会が6月5日(水)・8日(土)・16日(日)・17日(月)・18日(火)に開催されました。特に中学生最後となる3年生は、日頃応援してくれている家族や指導してくれる先生方への感謝の気持ちを胸に、素晴らしいパフォーマンスを見せていました。各種目の優勝校は以下の通りです。

### ★ 笛吹市 ★      ★ 東山梨 ★

種目	笛吹市	東山梨
野球	浅川中	山梨北中・松里中合同
サッカー	石和中	塩山中
ソフトボール	浅川中	塩山中
バスケットボール男子	浅川中	笛川中
バスケットボール女子	浅川中	山梨南中
バレーボール男子	一宮中	山梨南中
バレーボール女子	一宮中	山梨南中
卓球男子	石和中	山梨南中
卓球女子	浅川中	塩山中
リトニス男子	石和中	山梨北中
リトニス女子	石和中	塩山中
剣道男子	春日居中	塩山北中
剣道女子	石和中	山梨北中
柔道男子	石和中	塩山中
柔道女子	浅川中	—
バドミントン男子	—	山梨南中
バドミントン女子	—	山梨南中
バドミントン男子S	—	勝沼中
バドミントン男子D	—	塩山中
バドミントン女子S	—	勝沼中
バドミントン女子D	—	勝沼中
弓道男子個人	石和中	—
弓道女子個人	石和中	—
体操女子個人	石和中	—
陸上4×100mR男子(共通)	石和中	塩山中
陸上4×100mR女子(共通)	石和中	塩山中

